◆2023年6月の新刊　日本キリスト教団出版局

遠藤周作探究 全3巻 第2回配本

Ⅰ 遠藤周作　その人生と『沈黙』の真実

2023年 6月23日 刊行予定

山根道公（やまねみちひろ） 著

1960年、岡山県に生まれる。早稲田大学第一文学部卒業、立教大学大学院修了。文学博士。ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所教授。遠藤周作学会代表。『遠藤周作文学全集』全15巻解題及び年譜、『井上洋治著作選集』全11巻の編者及び解題を担当。著書『遠藤周作と井上洋治――日本に根づくキリスト教を求めた同志』ほか。1986年より井上洋治神父とともに「風の家」運動を行い、現在もその機関誌「風（プネウマ）」を発行する風編集室（https://www.kazehensyuusitu.jp）代表。

「沈黙」という題によって知られる小説に、当初、著者遠藤周作は「日向の匂い」というタイトルをつけていた――。『沈黙』執筆に至る経緯、本来の書名に遠藤がこめた想い、各登場人物の魂のドラマを読み解き、『沈黙』という作品の真実を解き明かす。遠藤周作の年譜付き。遠藤周作生誕100年を記念して改訂復刊。

A5判・上製・400頁・定価4,840円（本体4,400円＋税）　ISBN978-4-8184-1136-4　C0095

【シリーズ発売中】『Ⅱ 遠藤周作『深い河』を読む――マザー・テレサ、宮沢賢治と響きあう世界』定価3,520円
【シリーズ続刊】『Ⅲ 遠藤周作の文学とキリスト教』（仮題）2024年2月予定